

元・奈良テレビ放送
アナウンサー

伊藤まさやの県政フレッシュ

(議会活動報告)

発行:伊藤まさや事務所

〒630-8241奈良市高天町38-5 佐川第一ビル403

12月県議会

関西広域連合全面参加 力強く!賛成討論

▲12月県議会最終日
(県議会事務局提供)伊藤の賛成討論の様子は
こちらから▶ 12/15
12月県議会最終日
賛成討論は
27分30秒付近から

こんにちは。お元気でいらっしゃいますか。
去年12月1日から15日までの間、12月県議会が
開かれました。

12月県議会で議論の1つとなったのが、奈良
県が関西広域連合に全面参加する議案です。
奈良県は、前知事の考えにより、「広域防災」
と「広域観光・文化・スポーツ振興」の2つの分野
のみ参加していました。その知事も、去年4月の
選挙で交代し、現在の山下知事は、産業や医療、
環境といったすべての分野に参加することを
掲げていました。

関西広域連合に、全面参加するか否か。
奈良県内ではこれまで、選挙の争点になったり、
多くの県民のみなさんが、関心を持っていたと
思います。全面参加には、議会の議決=賛成が
必要で、特に、議会の過半数を持つ伊藤の所
属会派「自由民主党・無所属の会」の判断が注
目されていました。「自由民主党・無所属の会」
では、所属議員1人ひとりが、それぞれの考え
を持ち寄り、検討を重ね、全面参加が、県民生
活の大きな後押しになるとして「賛成」という答
えに至りました。そして伊藤が、県議会最終日の
15日に、賛成討論を行うことになりました。

■賛成討論を担う重み

今回は、会派と県民のみなさんを代表して
の登壇です。その責任の重さと緊張は、大き
なものです。ポイントは、全面参加で奈良県
に不利益が生じないように、山下知事に、懸
念材料を伝えておくことです。そのため伊藤
は、考えられるメリット(利点)とデメリット(不
利益な点)などを精査し「意見を付ける」とい
う形で原稿をまとめました。

■「意見を付けて」賛成討論!

山下知事には、次の4つの意見を付けました。

奈良県としての提案事項、金銭的な負担、
新たな業務を請負う時は、必ず県議会の
承認を得る

関西広域連合内の議論や動向を、
丁寧に、定期的に説明・報告する
奈良県が、数の力で取り込まれないよ
うに、奈良県議会での議決は、最優先
に主張する

奈良県議会が「不要」と判断した場合に
は「離脱」を提案、表明する

この意見には、法的な拘束力はありません。
しかし、奈良県の自立を守るためには、すべ
て必要なものです。関西広域連合への全面
参加が、県民のみなさんにとって、プラスに
なるように、山下知事の動向を見極め、県
議会での活動も展開していきたいと考えてい
ます。

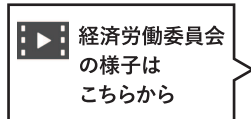


■今こそ「地域・経済活性化基金」の活用を

また、12月県議会には、207億円あまりの一般会計の補正予算案などが提出、可決されました。補正予算の多くは、物価高を少しでも和らげようというものです。伊藤は、国からのお金とともに、県独自の経済対策の必要性を訴え続けています。奈良県には今「地域・経済活性化基金」という貯金が、約500億円あります。この基金は、前知事の時代から、1年の間に使うとされた予算の、残ったお金を積み上げてきたものです。一部の報道では、この基金が、教育の無償化に活用されるとありました。教育環境の充実には、まったく反対しませんが、県内の中小事業者の経営支援や、賃金アップなどにつなげることが、県民生活の安心のため、まずは必要です。そのため、担当部局には、今だからこそ基金を活用した経済対策と、基金が目的以外に使われないように、質問と要望を行いました。



▲12/13 経済労働委員会(県議会議務局提供)



物価高などの
経済対策



県中央卸売市場の
再整備



■難病と闘う女子中学生との出会い

さて、12月県議会の途中、中学1年生の女の子と出会いました。生駒市内の中学校に通う宮崎響さんです。響さんは、10万人に1人という「ラーセン症候群」という難病と闘っています。響さんは、たくさんの友だちと、奈良の県立高校に進学したいと考えています。

しかし、行政や教育委員会との間で、正しい情報などが共有されず、様々な不安を抱えていました。響さんは、首から下の体を、自由に動かすことができません。しかし、あごを使って、パソコンにつながったレバーを

動かし、文字などを入力することができます。勉強も、お友だちと同じ内容をこなしています。響さんにご両親の不安はまず、高校受験にありました。現在の学習状況と同じような配慮で、テストが受けられるのか。もう1つは、進学後の学生生活です。響さんの移動には、寝た状態で動くベッドが必要で、エレベーターが無ければ、校舎の上の階に行くことが難しくなります。伊藤は、ご両親の不安を、県教委に伝え、響さんに配慮した受験が可能であることを確認。さらに、吉田県教育長と響さんらをつなげることができました。教育長からは、今すぐに、エレベーターの設置は難しいが、進学後は、響さんの学年やクラスを1階にするなどして、インクルーシブ教育(障害のある人とない人がともに学ぶ仕組み)を実践し、学生生活を支えたいというエールが送られました。



▲左から吉田県教育長、ご両親 宮崎 響さん

響さんの可能性を信じて。障がい者の希望を受けとめて。伊藤も応援を続けます。

編集後記

2024年が始まりました。新年の喜びよりも、不安や困難に悩む。そんなみなさんが多くいることを、県議会議員として忘れてはなりません。いよいよ2月県議会です。山下知事が、どのような新年度予算案をまとめるのか注目されます。県民のみなさんの声を反映したよりよい予算を組むために、伊藤は力を尽くします。

伊藤公式 SNS



ホームページ



エックス (旧ツイッター)



フェイスブック



FM五條のサイマル放送

皆様の声
お寄せください

伊藤まさや事務所

〒630-8241 奈良県奈良市高天町38-5

佐川第一ビル403号室

メール : info@itomasaya.nara.jp

